

デザインと静寂が交差する街

ヘルシンキ

フィンランド

北欧、スカンジナビア半島の内側にあるフィンランド。国土の大半が寒冷な気候であるため、大きな都市は国の南部に偏在し、首都ヘルシンキは最南部にある。上空から街を見下ろすと、「森と湖の国」と呼ばれるように、広大な濃緑の森林や水域のエリアが多いことを実感する。豊かな自然、そして建築から日常品まで様々なデザインが施されたこの街を歩いてみよう。

観光地としてのヘルシンキとは

スウェーデンに約650年間、帝政ロシアに約100年間と、長きに渡り他国に支配されていたフィンランドだが、1994年にEUに加盟し、2000年にユーロを導入。携帯電話の生産量が世界1位になるなど、ヨーロッパ内でも有数の経済大国となった。高い教育水準も有名で、公用語はフィンランド語とスウェーデン語だが、国民の英語力が大変高く、旅行者にとってはありがたい。

国内には、ラップランドやムーミンランドなど魅力的で有名な観光地があるが、首都ヘルシンキの特徴は、建築、インテリア、衣類、日用品など幅広い分野において卓越したデザインが見られることだ。

また、海と大陸に挟まれた所に位置するため、北欧でありながら穏やかな気候のうえ、四季もはっきりしている。雪化粧をする冬の平均気温はマイナス4度と想像するより寒くない。4月になれば春めき、5月から9月までは気温は上昇し、暑い日では30度を超す。また、日照時間が19時



内装が印象的なテンペリアウキオ教会 ©Helsinki City Tourist & Convention Bureau



ボルチーニなどのご類も豊富なオールドマーケット屋内市場





白さと大きさと目立つヘルシンキ大聖堂 © Helsinki City Tourist & Convention Bureau

間になる時期もある。秋は紅葉が見られるなど、四季折々のうつろいを楽しめる街である。

ヘルシンキ中央駅周辺とカンピ地区

ヘルシンキの街は、空港からバスで30分という利便性と、街の見所が徒歩圏内、さらにフェリーを使えば、まったく違った地域にも簡単に移動できるという点が、訪れる者にはうれしい。空港から街へ入った時のバスの終点地でもある「ヘルシンキ中央駅 (Helsinki Rautatieasema)」を旅の起点とするのがいいだろう。1919年に開業したこの駅の建物は、美術館のような外観で目を見張る。フィンランド人、エリエル・サーリネンによるデザインで、ランプを持った4つの大きな像が鎮座し、建物の端にある約5メートルの時計台がさらに建築物の存在感を強めている。特徴のあるこの建物は、CMに使われ



たり、曲が作られたりするほど、その印象は深い。この駅のすぐ側には、「国立現代美術館キアズマ (Nykytaiteen Museo Kiasma)」がある。アメリカの建築家ステイブ・ホルの設計で、5階まで吹き抜けの空間、カーブと直線の組み合わせによる内観、外観のデザインに評価が高い。美術館のサイズとしては、小さめで無理なく廻れるのがいい。現代美術が好きなら行ってみるといいだろう。また、ここに併設されたカフェは、光をうまく取り入れた落ちつける場所で、食事の味もなかなか良いのでランチにおすすだ。

開気を演出。そして、その仕掛けが見事な室内デザインとなっている。

マーケット広場周辺の中心街

観光地「テンペリアウキオ教会 (Temppelauktionstieko)」は、一風変わった造りの教会。ロックチャーチと呼ばれ、岩山を利用して建てられているため、外観からはまったく教会と判断できない。しかし、内部のデザインは見応えがある。円形状につくられたこの教会は、むき出しになった岩を壁として上手く利用している。音響がよく、コンサートも行われるそうだ。また、採光として上部に取り付けられた広面積のガラス部分に幅の狭い仕切り板をつける事で、差し込む光を和らげ、教会らしい穏やかで優しい雰

すぐそこに見える島や近隣の国へ行くフェリーの発着地であるエテラ港にあるマーケット広場には、野菜や魚、小腹を満たす食事が買える市場がある。魚屋の隣に毛皮の小物を売るストールがあったりと、この街では毛皮はファッションというより日常生活の必需品だということがわかる。また、その近くにある屋内のマーケット「オールド・マーケット屋内市場 (Vanha Kauppahalli)」では、同じように魚や野菜、ちよつと変わったもので熊やトナカイの肉の缶詰めなどの食品を売る店が軒を連ねる。茹でたエビ、スモークサーモン、寿司、サンドウィッチなどをその場で飲食できる店もあり、物価が高いヘルシンキで手頃な価格で食べる場所として覚えておくといいだろう。

マーケットの場所から周りを見渡すと2つの教会が見える。1つは、小高い丘の上であり、赤煉瓦造りの「ウスペンスキー寺院 (Uspenskin Katedraali)」。1868年に完成した西ヨーロッパ

信頼される安心を、社会へ。

セコム、して頂けますか？

Security by **SECOM**

留守中も、就寝中も、常にフラット・戸建住宅と家族の安全を見守る「セコム・ホームセキュリティ」

- 24時間365日、コントロールセンターでオンライン監視
- 留守中の侵入信号には、警察が現場急行
- 就寝中も外部からの侵入を警戒する在宅防犯機能
- 緊急時にはボタンひとつで警察を呼べるパニックボタン

- 家庭用セキュリティシステム ● 事務所・店舗等企業向け ● 遠隔画像監視システム ● CCTVカメラシステム
- インターフォン ● 出入管理システム ● 防犯シャッターなどの物理的プロテクション

ペリカンクラブ会員の方には、申込時の保証金免除などの特典がございます。

SECOM PLC ジャパンデスク: 020-8660-1360

www.secom.plc.uk 本社代表: 020-8645-5400 E-mail: japandesk@secom.plc.uk



正教会のビザンチン様式の内部も見応えあり。ウスペンスキ寺院 ©Helsinki City Tourist & Convention Bureau

パで一番大きいロシア正教の教会だ。金色の玉葱型ドームがロシアの支配下にあったことを示している。この教会の裏手奥に入った住宅街には、アールヌーボなどのデザインが施された建物やドア、番地を表す数字などが美しく、見て歩くだけでも楽しめる。

もう一つの教会は、ルーテル派の「ヘルシンキ大聖堂 (Tuomiokirkko)」。30年の歳月をかけて完成した白くて大きな建物で、晴れた日にはその白さがよく際立つ。地下聖堂ではコンサートや展覧会などが行われるので、イベント情報を観光局サイトで確認してみるといいだろう。

この大聖堂の近くには、有名な食器などを扱うデザインショップや、「マリメッコ (Marimekko)」などの衣料品店に加え、高級デザート「ストックマン (Stockmann)」など、デザインセンスの高いショッピング店が集まる街の中心地となっている。

街をぶらぶら見て歩く



建物のデザインに評価の高い国立現代美術館キアズマ ©Helsinki City Tourist & Convention Bureau



映画監督によって作られた観光名所のカフェ。モスクワ (Kafe Mockba)

あるので、街をぶらぶら見て歩くといいたいだろう。ガイドブックには載っていないが、帝政ロシアのネオ・クラシカルやスウェーデン領時代の近代建築、窓枠、門など小さな部分に施されたアールデコ、アールヌーボ、ファンクシヨナリズムなど、様々なデザインで融合されたヘルシンキは、スタイリッシュな街と言え、眺めているだけで十分に楽しめる。

おすすめは、Erikinkatu 通りや Kalevankatu 通り。この道に挟まれている「ソコスホテル (Sokos Hotel Tornii)」は、外観、内部、部屋など至る所になつぷりとアールデコのデザインが施され、今も綺麗に残っている。1980年まではヘルシンキで最も高いビルで、今でも景色を眺めるには最高。屋上には、バーがあり、夜景の美しいビューポイントとして訪れる人が多い。

フェリーで15分のスオメンリンナへ

エテラ港からフェリーに乗り15分程度で行けるスオメンリンナ (Suomenlinna) は、海に囲まれた要塞としては世界で最大なものの一つで、ユネスコの世界遺産に登録されている。行きすがらにいくつもの小さな島を通り過ぎる。ヘルシンキは、315の島が点在し、ここもその一つだ。中にはやっと1軒の家が建てられるほどの小さな島もある。木造でカラフルな色の北欧スタイルの家を見ているうちに、島に到着する。スオメンリンナは、4つの島から成り立っており、約850人が生活している。各島は橋で繋がっており、本島にあるビジターセンターには、要塞の歴史を展示している博物館や、ここから出発するガイドツアーに申し込める。

当時は思わせる大砲があらちちに残されていたり、おもちゃ博物館もあり、車の出入りがほとんどないので、家族連れでものんびりと安心して散策ができるのがうれしい。カフェが点在しているので、疲れたら休めるのもありがたい。島という場所柄、風が強い日もあるため、夏でもウインドブレーカーなど風対策をして出かけた。街へ行く際には歩きやすい靴で



住宅街で見たデコラティブなドア

出向く方が良いだろう。

エストニア「タリン」へ日帰り旅行

ヘルシンキからバルト3国のエストニアの首都タリンは、海を隔てて83キロメートルと近隣の街。通年運行のフェリーがあるが、特に3月下旬から12月中旬までは、高速フェリーがあるため90分で到着。その上、タリンの見所である中世の面影が残る旧市街までは港から徒歩圏内なので、日帰りも可能だ。

世界遺産として登録された「タリン」は、物価がフィンランドより安いので、多くのフィンランド人が出向く。カフェやホテルでは、無料のミネラルウォーターが進むなど、観光だけでなく、都会的な要素を多く持つ街でもある。全く違った2つの街を訪問できる地の利を利用しない手はないだろう。

ヘルシンキは、世界的なデザインイベント「ワールド・デザイン・キャピタル」の2012年の開催都市として選出された。数多くのデザインに関するイベントが、首都ヘルシンキだけでなく、国内でも行われる予定だ。

フィンランドには「沈黙は金」と似た諺がある。そうで、大声で話したり、騒いでいる様子をあまり見せないという。そのせいか街が静かに感じられる。しかし、話せば人々は気軽に答えて、そして暖かさを感じる。そんな北欧の街の1つ「ヘルシンキ」を訪れてみては？

(北野 熊雄)



ユネスコの世界遺産に登録されているスオメンリナ要塞 ©Helsinki City Tourist & Convention Bureau

INFORMATION

●ヘルシンキ市内観光局

Helsinki Kaupungin Viralliset
Pohjoisesplanadi 19, Helsinki Finland
www.visithelsinki.jp

営業時間：5月15日～9月15日

月曜～金曜 9:00～20:00

土曜、日曜 10:00～18:00

9月15日～5月14日

月曜～金曜 9:00～18:00

土曜、日曜 10:00～16:00

●国立現代美術館キアスマ

Nykytaiteen museo Kiasma
Mannerheiminaukio 2, FIN-00100
Helsinki, Finland
www.kiasma.fi

●テンペリアウキオ教会

Tempelliaukionkirko
Lutherikatu 3, Helsinki Finland

●マーケット

Kauppatori, Helsinki Finland

営業時間：月曜～金曜 6:30～18:00

土曜 6:30～16:00

5月～9月 日曜 10:00～17:00

●オールド・マーケット屋内市場

Wanha Kauppahalli, Helsinki Finland

営業時間：月曜～金曜 8:00～18:00

土曜 8:00～16:00

●スオメンリナ島情報サイト

www.suomenlinna.fi/

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

ANA BUSINESS STAGGERED



全席通路側・日系初のフルフラットシート。
今までにない快適さの追求。
ANAのこだわりを実感してください。

スタッガードシート開発ストーリー vol.4

テーブル&シートは自分仕様に。

テーブルとシートの適正ポジションは、パソコンを使用するとき、お食事のときなど、お過ごしシーンごとに異なります。お客様にあらゆるシーンで適正ポジションを確保していただくため、テーブル、シートの位置を調整できるようにしました。手前に引き出せるテーブルは、2段階での調節が可能。もう少しテーブルを引き寄せたいと思ったら、シート脇の「TRACKING」ボタンを押してください。シート全体が前後に移動し、お客様のベストポジションを確保していただけます。

www.ana.co.uk/j フランクフルト - 羽田線、最新鋭機ボーイング787で2012年1月21日就航。

Inspiration of Japan